



全日本ゴルフ練習場連盟

表彰制度

JGRA

サービス 部門

クラブハウス、打席等、
でのお客様に好評な
独自のサービス

経営部門

節税、新企画、公共機関
＜町、村、市、県＞
との連携等

維持管理 部門

駐車場、フェアウェイ、洗球装置、
送球装置等、の機械の改良、
改造、使用方法の工夫等

練習場業界に携わる皆様より
日頃業務をする中で発見した「アイデア」や
「工夫」・「発想」を広く公募します！
JGRAでは、その中から優秀者を選出する
表彰制度を実施致しています。



經營部門

エントリーNo. 1 「hacomono予約システムを活用したレッスン予約・決済の短略化」 群馬県 グリーンウッドゴルフレンジ

当練習場では、予約・決済・会員管理を一元化するhacomonoシステムを導入し、収益構造の安定化と運営効率の向上を実現しました。オンライン予約と事前決済を標準化することで、無断キャンセルの減少と稼働率の平準化を達成し、売上の予測精度が大幅に向上しました。また、サブスク型プランや回数券の自動更新機能を活用し、継続課金による安定収益モデルを構築しています。さらに、利用履歴・来場頻度・購入データを統合分析し、顧客ごとの行動傾向に応じたプラン提案やキャンペーン配信を行うことで、LTV向上と再来場率の改善につながっております。受付業務はキャッシュレス化と自動チェックインにより大幅に効率化され、スタッフの配置最適化と人件費削減を同時に実現しています。本取り組みは、デジタル基盤を活用した経営効率化と収益最大化を両立するものであると共に、持続的な施設運営に寄与しています。

エントリーNo.2 「TrackMan Range × インドア統合データで実現する 生涯スイングID」 群馬県 グリーンウッドゴルフレンジ

当練習場では、屋外のTrackMan Rangeとインドア施設の弾道・スイングデータを統合し、利用者一人ひとりに「生涯スイングID」を付与する仕組みを構築しました。これにより、場所や天候に左右されず、どこで練習しても同じ指標で成長を可視化できる新しいゴルフ体験を提供しています。スイングIDは弾道データ、クラブ軌道、インパクト傾向など複数の指標を統合した独自スコアで、初心者から上級者まで自身の課題を直感的に把握でき更に、屋内外の練習履歴を自動で紐づけ、改善ポイントをAIが要約することで、効率的な練習計画の作成を支援しています。本取り組みは、既存設備を活用しながら新たな価値を創出するもので、顧客満足度の向上と継続利用の促進に寄与しています。屋内外の垣根を超えたデータ統合は、地域ゴルファーの生涯スポーツとしてのゴルフ継続を後押しする取り組みです。

エントリーNo. 3 「地域スポーツを活性化させるインドアゴルフコミュニティの開発」

東京都 ゴルフビット 吉祥寺ゴルフ部

ゴルフビットは「無人型インドアゴルフ練習場」という業態に属しますが、店舗コンセプトとして「地域のゴルフ部」を掲げています。

近年問題となっている「部活動の地域移行」を事業背景として、「インドアゴルフ練習場」に「部活動」という日本特有のスポーツ文化を組み込むことにより、地域スポーツを活性化させながら、将来の世代にもつながる持続可能な「インドアゴルフコミュニティ」として店舗開発をしてきました。

「インドアゴルフ練習場」は個室型でプライベートを重視する店舗が多いですが、ゴルフビットでは「オープン型打席」を採用し、練習や球拾いを一緒に行うことで部員間の交流を促しています。そして週3回ペースで「部活動」と称した団体練習を開催し、初心者から競技者まで、幅広い年齢・腕前のゴルファーから好評をいただいています。

エントリーNo. 4 「Googleビジネスプロフィールに自社付帯施設を登録」 大阪府 井高野ゴルフセンター

【事実】

世界のブラウザシェアは Google Chromeが約65%、日本国内でも 約63% を占めており、多くのユーザーがChromeを通じてGoogle検索を利用しており、**最初に目にするのはGoogleのプロフィール情報であるが**、自社メイン事業の井高野ゴルフセンターのみを登録していた。

【気付き】

Googleビジネスプロフィールに、ゴルフショップやバッチングセンター、フットサルなど付帯施設事業も登録することで、下記のメリットがある為、登録を行なった。※成果参照

【成果】

- ・無料で利用可能：Google検索やGoogleマップに店舗情報を表示できる
- ・正確な情報提供：住所・電話番号・営業時間・写真などを管理できる
- ・口コミ管理：顧客からのレビューに返信・対応が可能で信頼性を高められる
- ・集客効果：検索結果や地図上で目立ちやすく、新規顧客獲得につながる
- ・インサイト分析：ユーザーがどの検索で来店したかなど行動データを確認できる
- ・編集が簡単：SNSのプロフィールを編集するように、簡単にリアルタイムに自分で変更ができる

このように、ホームページよりも先に閲覧されやすい、Googleビジネスプロフィールを整えることで来店や問い合わせにつながる確率が高まり、集客効率が向上、ホームページへのアクセスも増える為、顧客に選んでいただきやすくなる。



エントリーNo. 5 「開場記念コンペの開催」 大阪府 井高野ゴルフセンター

【事実】

お客様から参加費を頂いてコンペをしていたが集客が悪くなり、また商品を選ぶことも難しくなっていた。

【気付き】

日頃のご利用の感謝としてコンペを開催するのであれば、参加費は頂かずご参加の方には井高野ゴルフセンターで利用できるICカードプレミアムポイントをプレゼントすることで多くの方に参加して頂く方が良く気が付いた。

【成果】

174名の定員でも、告知開始から10日間ほどでキャンセル待ちが出るほど、参加希望のお客様が増えました。

井高野ゴルフセンター 開場 52 周年記念ゴルフ大会 2025 年 8 月 27 日 (水)

リポートラストレディース 2024 開催
今年はコースが変わります **関西ゴルフ倶楽部**

場 所	関西ゴルフ倶楽部 (吉川 IC より)
プレー費	15,990 円 (キャディー・昼食補助 1,650 円付)
募集人数	先着 174 名 (IC カード会員様限定)
参加費	無料 日頃の感謝を込めて
参加賞	IC カード 4,000 ポイントプレゼント
賞 品	総額 100 万 P 以上 (参加賞含む)
申込受付開始	2025 年 6 月 1 日

※定員に達した場合はキャンセル待ちで受け付けます

～お申込詳細はフロントまで～

エントリーNo. 6

「中高年男性の居場所づくりの取り組み」

北海道 山の手ゴルフセンター

近年、中高年男性の一人暮らしによる孤独死がここ10年間で5倍になっております。北海道では、2023年には、246人そのうち男性が188人と男性が、75%を占めました。こうした中、孤独死を減らすために、北海道札幌市では、定年後の男性らで集まり、人々とのつながりを持たせることで、社会的な問題を解決しようとする集まりができました。それが「ポッケコタン」です。北海道の先住民族「アイヌ民族」の言葉で温かい居場所にちなんで名づけられました。今回の取り組みは、ポッケコタンのメンバーにPGAのプロに60分のゴルフレッスンを依頼。ヨガの先生にゴルフに関する60分ストレッチを依頼。ゴルフとヨガのコラボで、楽しんでいただけるよう取り組んでみました。レッスン終了後には、全員集まりまして、コーヒーを飲みながら、談笑。ゴルフが上達したら、コンペに出てみようとお話しされる皆様の、楽しそうな顔が印象に残りました。これからも継続できるよう取り組んでいこうと思っています。



エントリーNo. 7

「ファミリーでゴルフを楽しもう」

大阪府 青谷ゴルフガーデン

ファミリーでゴルフを楽しもう

私たちのゴルフ練習場では、幅広い年代の方がより快適に過ごせるよう、キッズルームを設け、家族みんなで利用しやすい環境づくりに取り組んでいます。

ゴルフは年齢に関係なく楽しめるスポーツです。だからこそ、おじいちゃん・おばあちゃん、親世代、そしてお子さままで、三世代そろって気軽に來ていただける場所でありたいと願っています。キッズルームには絵本やおもちゃを揃え、小さなお子さまが安全に遊べる空間を用意しています。

その間に保護者の方は練習に集中でき、ご年配の方もゆっくりと体を動かしながら楽しめます。三世代が同じ施設でそれぞれの時間を持ちながら、帰るころには「みんなで来てよかった」と思えるような場所を目指しています。

ゴルフを通じて、家族のつながりが深まる時間をつくっていただければ嬉しいです。お孫さんの成長を見守りながら練習されたり、親子でスイングを教え合ったり、世代を超えて笑顔が生まれる瞬間をサポートできれば幸いです。

これからも、安心して利用できる環境づくりに努めてまいります。ぜひ三世代そろって、ご家族みなさまで遊びにお越しいただきたいと思っています。



エントリーNo. 8

「Line連携会員証」

東京都 大島ゴルフセンター



LINEアカウントと連携することで、LINE上に表示されるQRコードを会員証として利用できる仕組みを導入し、従来のICカードが不要となりました。2025年5月の導入以降、新規会員のほぼ100%がLINE連携会員となっています。既存のICカード会員も順次切り替えを進めていますが、ICカードの継続利用も可能です。本システムによりICカード発行費用を削減できただけでなく、LINEを通じて会員への情報発信が可能となりました。さらに、これまで入金機でしか確認できなかったチャージ残高やポイント情報も、LINEからいつでも確認できます。専用アプリのインストールが不要で、普段利用しているLINEで簡単に連携できるため導入のハードルが低く、多くのお客様から好評を得ています。

